

科目	心理学(B)	単位数	2
担当教員	多田 美香里		
履修対象	心理科学科1年春学期・健康科学科1年春学期・子ども1年春学期・発達1年春学期		
概要と目的	心理学の研究領域は多岐に渡り複合的でもあります。そのためこの授業ではすべての研究領域をカバーすることはできないと思われませんが、基本的な知識を紹介することを通して、心理学の考え方の特徴をつかむことを目指しましょう。		
達成目標	「知識・技能」 (1) 心理学の成り立ちについて概説できる。 (2) 人の心の基本的な仕組みや働きについて概説できる。 (3) 心理学の学術的専門書を読むことができる。 「思考力・判断力・表現力」 (1) 学術的な心理学と科学的でない心理学の違いを区別できるようになる。 「主体性・多様性・協働性」 (1) 過去の研究について現在の倫理的観点から批評することができる。		
授業計画			
1	心理学とは、心理学の歴史：心理学が扱う対象、細分化された領域、心理思想、心理学の成り立ち、学派		
2	人間の行動特徴：動物と人間、生得性と獲得性、初期経験		
3	発達：発達観、言語発達、自我の形成、発達段階、加齢		
4	学習：古典的条件づけ、オペラント条件づけ、観察学習		
5	感覚：感覚の種類と範囲、感覚間統合		
6	知覚：注意、体制化、恒常性、空間と運動		
7	認知：記憶の過程、非言語的記憶、学習プログラム		
8	言語：音声、運用と理解、概念獲得		
9	思考：問題解決、推論、創造的思考		
10	動機づけ：内発的動機、社会的動機、動機の階層と獲得、原因帰属		
11	情緒：ノンバーバルコミュニケーション、情動表出、気分と感情		
12	人格：把握と形成、特性と類型、検査、知能		
13	社会：個人と集団、対人認知		
14	臨床：異常心理学、心理アセスメント、心理療法論		
15	再び、心理学とは：これまでのまとめとそれを踏まえた人の心の基本的な仕組みや働き、関連する領域について確認		
授業形態／具体的な内容	教員が用意した資料（レジュメ）に基づき、授業をすすめる。この授業の主眼は心理学の初歩的な知識の習得を目指すものであるため、用語や構成概念の理解を確認するため、小テスト等を実施する。		
教科書			
教科書名	著者名	出版社	金額
教科書は指定しない			
参考書			
成績評価の基準・方法	成績評価の基準：心理学の成り立ちや心の仕組みについて理解し、概要を説明できること。 成績評価の方法：受講態度（積極性・コメントの妥当性）10点、課題（宿題、小テスト、小レポート、コメント）の達成度40点、学期末試験50点とする。		
留意点			
準備学習	心理学の書籍または論文を読んでおくことを望みます。予備知識が得られ、授業内容が理解しやすくなります。「心理学」、「心理学概論」、「心理学通論」等の題目の本を選ぶと幅広く書かれていると思います。複数冊読むと、様々な角度から心理学を捉えることができます。また、受講後に再読するとさらに理解が深まります。		
備考	宿題、レポート課題等については解答例を示すので、採点結果とともに参照してください。	No.	GE712004